

# 勇払原野の保全考えよう

## 19日に「苫東環境コモンズ」フォーラム

勇払原野の新しい環境保全の試みを考えるフォーラム「苫東環境コモンズがめざすもの」が、19日午後1時半から、苫小牧市サンガーデンで開催される。釧路公立大学長の小磯修二環境コモンズ研究会座長が、環境コモンズ概念と方向性を説明し、NPO法人の代表者らによる地域と住民主導による勇払原野の環境保全の在り方などについて意見交換する。

「コモンズ(communities)」とは「ある特定の人々の集団が集まり、公

有地などの社会資本を、持続可能なかたちで利用、管理、維持するため  
の概念や制度・組織」と定義されている。自治体財政が悪化し、公有地などの管理が十分に行われないケースが増加する中、地域資源の新しい活用スキームとして注目されている。

北海道開発協会では、2008年12月に小磯氏や辻井達一北海道環境財団理事長(元北大教授)ら学識経験者と有識者を委員とした「環境コモンズ研究会」を設立。地域資源の持続的活用に向けた研究を進めながら、先駆的事例として、苫東を舞台とした活動展開を検討してきた。具体的な取り組みについては、活動母体としてNPO法人「苫東環境コモンズ」設立を目指し、9月中旬に法人認可申請を行う予定だ。

今回のフォーラムでは、こつした環境コモンズにかかわる一連の活動を報告し、パネルディスカッションなどを通じて、環境コモンズへの理解と、勇払原野の環境保全に向けた取り組みなど

を、参加者とともに考えていく。問い合わせは、北海道開発協会開発調査総合研究所内の環境コモンズ研究会まで。電話は011(709)5213。